

新幹線プレス

2012年6月15日 No.56

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

不当な出向の延長は絶対認められない！

6月14日、会社は新幹線メンテナンス東海（SMT）に出向中の山本修さんに不当にも出向延期の事前通知を行った。JR東海労新幹線地本は、不当な出向延期は絶対認めることは出来ません。

山本さんは6月で出向の満期を迎えます。本来なら出向前の元の職場・東京の車両所に戻るべきものです。しかし、会社は不当にも出向延期を通知してきました。JR東海労新幹線地本は、会社の不当な事前通知を許さず、山本さんを元の職場に戻す取り組みを進めていきます。

会社のしている面談は恫喝だ！

会社は、出向延長を通知する前に面談を実施しました。その面談では①SMTで優秀な人材なので延長してほしいと要請があった。②会社としても延長でお願いしたい。といった延長のためのお願いをし、③車両所は車種も変わり、作業内容も変わっているので大変だと思う。④通勤もバスでの移動で今よりは大変になる。また、夏場の庫は暑く大変だ。⑤希望を聞きに来たわけではない。延長を伝えにきた。という恫喝をし、山本さんの意思を確認するためのものではなく、初めから出向延長ありきの面談でした。

JR東海労新幹線地本は、出向延長ありきの面談も許すことは出来ません。

本人の意思を尊重し、車両所に戻せ！

山本さんは、面談で「元の職場、車両所にもどりたい」「体も肝炎を患っていて今の仕事はつらい」「このまま出向だと54歳原則出向の年齢になり元の職場に戻れなくなる。是非、元の職場に戻してほしい」と強く訴えました。

しかし、会社は山本さんの意思を尊重せずに出向の事前通知を出しました。このことは、協約にも違反することです。協約では、「出向社員の帰任時の所属箇所等は、当該社員の出向前の所属箇所・職種及び出向経験並びに会社の要員需給状況等を勘案の上、決定する」となっています。SMT及びJR東海の要員需給は、山本さん一人が抜けても入っても何も問題がある訳ではありません。会社は山本さんの意思を尊重し、元の車両所に戻すべきです。